

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2010年3月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	455,052	97.5%
現預金・その他	11,775	2.5%
合計	466,827	100.0%

運用状況

2010年3月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で6.15%上昇しました。良好な経済指標と企業業績の発表を受け、景気回復期待が高まり上昇しました。欧州では域内での財政問題支援の方向性が示されたこと、米国ではFRBの低金利継続が主な材料となりました。このような市場環境の中、円安の進行もあり、当特別勘定は7.28%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

3月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

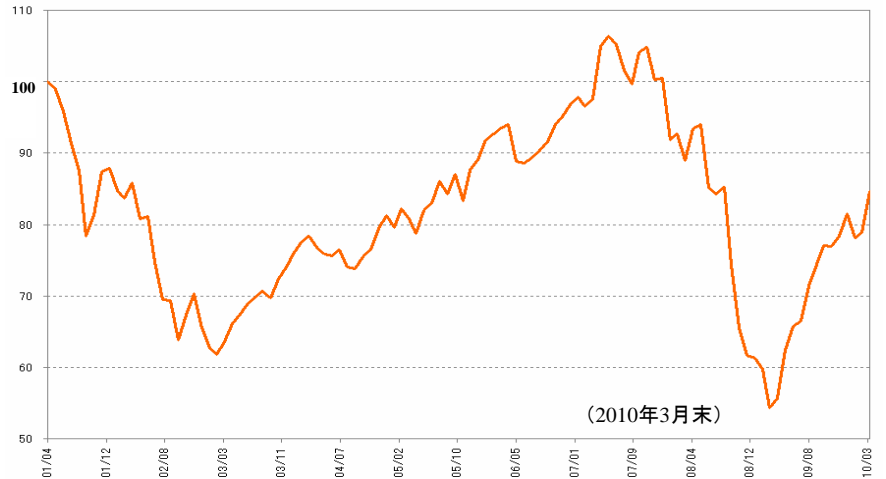
4月についても、「ラッセル外国株式ファンドI-4A」、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」への投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
84.63573526	+7.28%	+3.87%	+9.78%	+52.15%	▲13.26%	+4.74%	▲15.36%

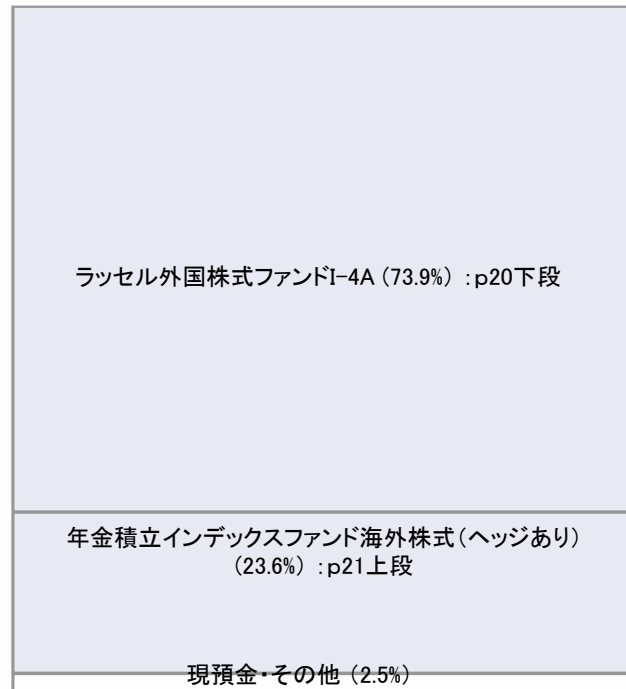
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p20下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。